

6年 総合的な学習の時間 学習指導案

「蒼玉の瞳プロジェクト」

渋谷区立神宮前小学校

学級 6年1組組(29人)・2組(30人)

単元の目標

- 自分や自分の地域・国を客観的に見つけ、現代社会を生きる一人として自信をもって世界の人々と共に生きていこうとすることができる。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 探究的な学びを通して、様々な国の人々の生活(生き方)を知る。 自分たちの生活と世界の人たちの生活の中のつながりを知る(社会的つながり,生態系的つながり)。 発表方法としての動画制作のプロセスを知る。 立場の違いは、コメントの違いとして表れることがあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じて情報を収集しまとめる活動を通して、情報を整理する。 動画を制作する過程で、よりよい表現を求め改善すると同時に、学習計画の見直しを行う。 自分の表現を、違う視点から捉え直し、更によりものとして表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の大人からのコメントを踏まえて前回制作した動画を見直し、自分たちの動画のよいところに気付き、自分の成長を今後の活動の自信へとつなげる。 改善点を具体的にすることがさらなる成長につながることに気付き、動画の改善の過程そのものを楽しむ。

単元の指導計画

① 導入期:蒼玉の瞳プロジェクト

- 世界の人々の生活への興味・関心の芽を育む
- 統計の見方・考え方を学び、世界を多角的に見るための準備をする。

関連:算数「資料の整理」「データの活用」

2 4 時間

② 探究期:SDGsで世界を見る

- SDGsを通して、世界の出来事を探る。
- SDGsをテーマとした劇をつくり、学芸会で演じる。
- 動画へのコメントやゲストティーチャーとの交流をきっかけに、学習を深める。

関連:社会「日本とつながりの深い国々」

2 8 時間

③ まとめ期:自分を振り返る

- これまでの学習を基に世界の中で生きていく自分について考える。

関連:国語「今、私は、ぼくは」
理科「地球に生きる」
社会「世界の未来と日本の役割」

1 8 時間

「自ら学びに向かう児童の育成」の実現をめざした 学年の取り組み

本校の児童は、第5学年のシブヤ科で、明治神宮の神主さん等の協力を得て、鎮守の森を残すために尽力してきた先人の生き方を学ぶ。歴史の中にシブヤを位置付けた児童は、第6学年で世界に目を向け、シブヤを立体的に見ることができるようになる。情報を集め整理する中で新たな視点を獲得し、他者と意見を交流する中で考えを深めていく経験は、卒業に向けて自分の将来について考える際の土台となる。

本学年の児童は、年度当初、「他者の言動や意見に興味をもつこと」「学びを基に行動すること」があまり得意ではなかった。そこで学年は、本校の研究テーマ「自ら学びに向かう児童の育成」を受け、「問題を主体的に解決し、根拠に基づいて自分の考えを積極的に表現する子」の育成を目指し実践を積み重ねてきた。とくに重視してきたのは、日々の学習における振り返り活動である。教科や単元に関わらず、常に「他者の言動や発言に興味・関心を持ち、共感・受容し

ようとしているか」を見取るように努めてきた。シブヤ科で目指している「よりよくするために主体的に自己や集団に関わり、多様な他者と協働して積極的に社会に参画しようとする」態度の育成にもつながると考えている。

<蒼玉の瞳プロジェクト 年間の流れ>

① 導入期:視野を広げたい!

児童の学びを活性化するための導入として、ワイルド作「幸福の王子」を活用した。「世界について調べよう」「SDGsを学ぼう」と始めるのではなく、「そもそも世界を知る意味があるのか」「調べるのはなぜか」を議論することから始めた。議論を通して、「知らない方が楽しい」と思っていたけど、世界のことを知ることから、世界を変えることが始まると思う」という意識が広がり、世界に目が向くこととなった。プロジェクト名の「蒼玉の瞳」は「幸福の王子」の「蒼い目」を意識して生まれたものである。

② 探究期:世界を知りたい!

世界を探究する際の枠組みとして、

SDGsの視点を活用した。探究の過程で、児童の一人が、「地域の公園の設立にあたって地域の子供の意見を求めている」という情報を入手し、そこから地域の公園づくりの会議にも参加してきた。

本時の動画のリメイクは、冬休み前に作成した動画に対しての、地域の方々からのコメントを受けて行う。自分たちなりに真剣に作ったものに対する意見を悔しく捉える児童がいてもよい。そういう児童が、それでも自分たちの動画をよりよくしたいと考えていけるよう、次週にシリアの難民の方を迎えた授業を計画している。学習の原点を確認する時間とした。児童が、さらに力を磨きたいと希望したときのために、「伝わるプレゼンづくり」を専門にしている大学の教授からの特別授業の機会を準備している。

③まとめ期:ぼくは・私はこう生きたい!

①②の学習を基に、自分のこれからを考えていく。シブヤを、そして世界を担っていく存在へ成長して行ってほしいと願っている。



本時 (22/28)

ねらい:

自分たちが制作した動画に寄せられた地域の大人の方々からのコメントを整理する活動を通して、自分たちの動画の良かったところ・改善できるところに気づき、次時以降のリメイクの活動計画を立てる。【課題の再設定】

	学習内容・学習活動	留意点/教材・教具
導入	<p>○本時の課題に出会う。 これまでの振り返り: T SDGsについて調べたことで動画を作ってきました。どういところを頑張ってきましたか。 C 話す練習をした。 C 調べるのに時間がかかった。 C はじめて動画編集をしたから難しかった。</p> <p>T そんな、みんなの動画を校長先生に見ていただきました。校長先生が気に入ってくださって、ぜひ学校以外の人にも紹介したいと言ってくださっています。ただ、もっとよくできないか考えてみてほしい、とのことでした。リメイクしてみませんか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">動画リメイクの計画を立てよう</div> <p>T 今日、先生のところに、皆さんの動画へのコメントがあります。これを見てください。 C 見てみたいです。 C どんなことが書いてあるのかなあ。</p>	<p>○自分たちの動画について振り返る 自分たちの動画の良いところ、改善点を、自分たちの視点で考えてみる(A)。 ○授業配信担当の児童に声掛けし、オンラインの児童にも授業が届くようにする。時々、授業者はこの配信担当の児童を確認する。</p>
展開	<p>○課題の解決を目指して動く T いろいろな情報がありそうですね。リメイクするのに、何を必要があると思いますか。 C コメントを整理する。 C 必要な情報を集める。 C 練習する。 T では今日は、最初のステップとして、コメントの整理から始めましょう。まずは、自分なりの整理をExcelではじめてください。時間が経ったら声を掛けるので、グループで自分たちの考えを画用紙に整理してください。授業の最後に教えてほしいと思います。</p> <div style="border: 2px solid pink; padding: 5px;"> プラットフォーム: Teams (グループごとのチャンネル) コメントの共有: PowerPoint 情報の整理: Excel 振り返り: Excel </div>	<p>○Excelの個人シートで自分なりに情報を整理する。改善につながるコメントとそうではないコメントが存在することに気付く。(自力解決)</p> <p>○Excelの共有シートを開き、意見交流を行う。(オンライン小集団交流)</p> <p>○Teamsでつないでいるオンラインの児童の様子を注意しておく。</p> <p>○まとめ用の画用紙とペンを配布する。</p>
	<p>○学習を振り返る T そろそろ時間だと思えます。リーダーの皆さん、グループの中で声を掛け合ってください。</p>	<p>授業後: 「具体的な改善点が見えることでさらによくなりそう。」</p>

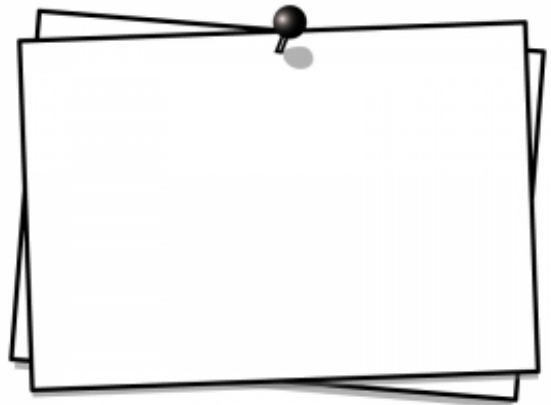
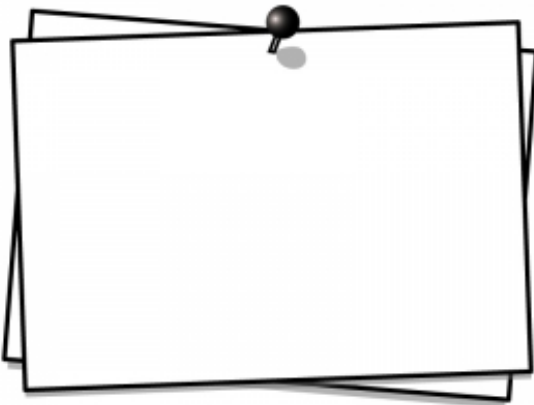
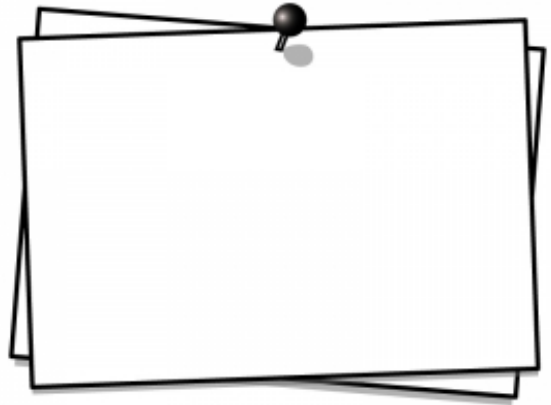
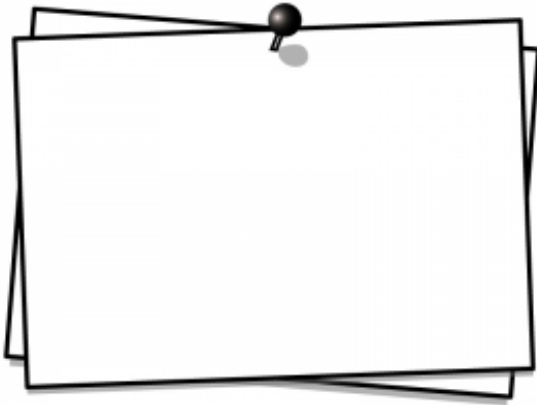
令和5年1月25日

フィードバックシート

学校名

記入者名

授業者へのメッセージ/フィードバック



自分の授業に活かしたいこと/この授業をもとにした展望

